

令和 2 年 アユの遡上状況について (解禁前情報)

6 月 1 日に多くの県内河川でアユ釣りが解禁となります。茨城県水産試験場内水面支場では、県内河川のうち久慈川堅磐堰 (河口から約 8 km) と那珂川千代橋 (河口から約 30 km) を調査定点とし、久慈川漁業協同組合および那珂川漁業協同組合とともに、2 月からアユの遡上調査を実施しました。この結果を以下のとおりまとめましたので、解禁前情報としてお知らせします。

1 アユの遡上状況

(1) 遡上初確認日について

調査定点での遡上初確認日は、久慈川で 3 月 3 日、那珂川で 3 月 13 日でした (表)。

表 茨城県水産試験場内水面支場の調査による遡上初確認日とサイズ

年	久慈川 (堅磐堰)		那珂川 (千代橋)	
	月日	平均全長 (mm)	月日	平均全長 (mm)
令和 2 年	3 月 3 日	69.0	3 月 13 日	80.6
平成 31 年	3 月 5 日	71.1	3 月 19 日	86.1
平成 30 年	3 月 14 日	85.0	3 月 20 日	83.5
平成 29 年	3 月 21 日	74.9	3 月 13 日	84.7
平成 28 年	2 月 23 日	86.2	3 月 23 日	81.1
平成 27 年	2 月 25 日	70.2	3 月 31 日	77.4
平成 26 年	3 月 25 日	89.4	4 月 2 日	87.0
平成 25 年	3 月 15 日	84.8	3 月 25 日	82.7
平成 24 年	3 月 9 日	80.0	4 月 17 日	74.2
平成 23 年*	3 月 30 日	78.7	4 月 7 日	78.2

※平成 23 年は東日本大震災の影響から連続調査ができなかったため“参考値”。



久慈川 (3 月 3 日)



那珂川 (3 月 13 日)

図 1 今年度において初採捕された遡上アユ

(2) 遡上アユの採捕尾数の推移 (投網 10 投あたりに換算した採捕尾数の推移)

1) 久慈川： 各週毎の採捕尾数は、3月第2週から5月第1週まで平均値(平成17～令和元年の平均)より多く推移しました。特に4月第4週は平均値を大きく上回る採捕尾数となり、遡上のピークとなりました。5月第2週以降は、平均値より少ないか同程度でした(図2)。

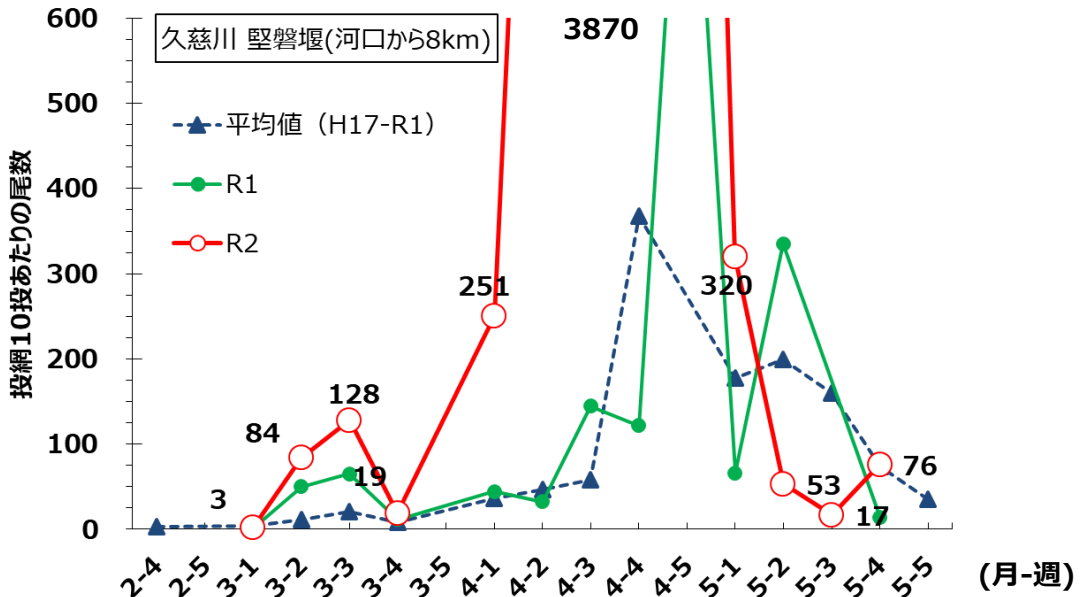


図2 久慈川堅磐堰でのアユ遡上状況

2) 那珂川： 各週毎の採捕尾数は、3月第2週から3月第4週および4月第1週から5月第2週で平均値より多く推移しました。特に3月第2週および4月第3週は平均値を大きく上回る採捕尾数となり、遡上のピークは2回ありました。5月第3週以降は、平均値より少ないか同程度でした(図3)。

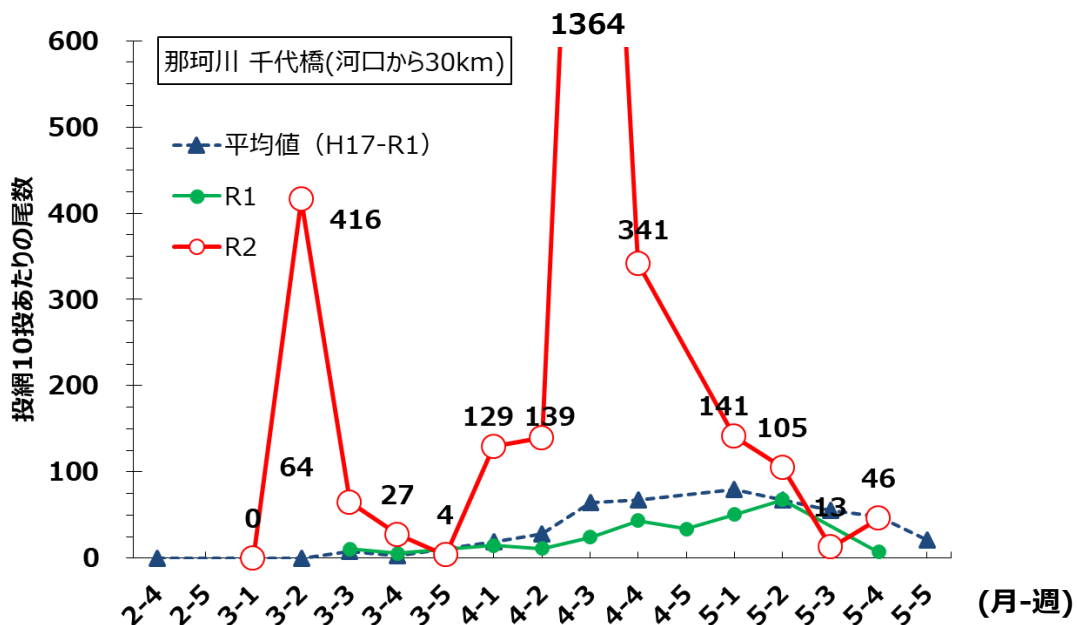


図3 那珂川千代橋でのアユ遡上状況

2. 漁協の聞き取り結果

(1) 久慈川： 今年のアユ遡上調査では、初遡上確認が過去 2 番目に早く、その後も平均値を大きく上回る量のアユが採捕されています。大子などの上流域においては、多数のハミ跡が見られています。

昨年、台風の影響で産卵場造成が実施できませんでしたが、ここ数年は秋季の自主禁漁や産卵場造成といった資源保護・増殖手法の改善に積極的に取り組み、好調な遡上を確認されています。好釣果を期待するとともに、コロナウイルス対策をしたうえで釣行いただけると幸いです。

(2) 那珂川： 今年初の遡上は、過去の調査で 1 番早い 3 月 13 日に確認されました (H29 年と同日)。例年になく、途切れずに遡上が見られ、平均値を大きく上回る尾数が採集されました。また、川の広い範囲で多くの遡上アユが確認されています。

シーズン中の釣れ具合は天候にも左右されますが、6 年前から取り組んでいる産卵場造成等の効果が出て、多くのアユの姿が見られることを期待します。

【参考】河川水温の推移

久慈川堅磐堰・那珂川千代橋の河川水温は以下のとおり（図4）。

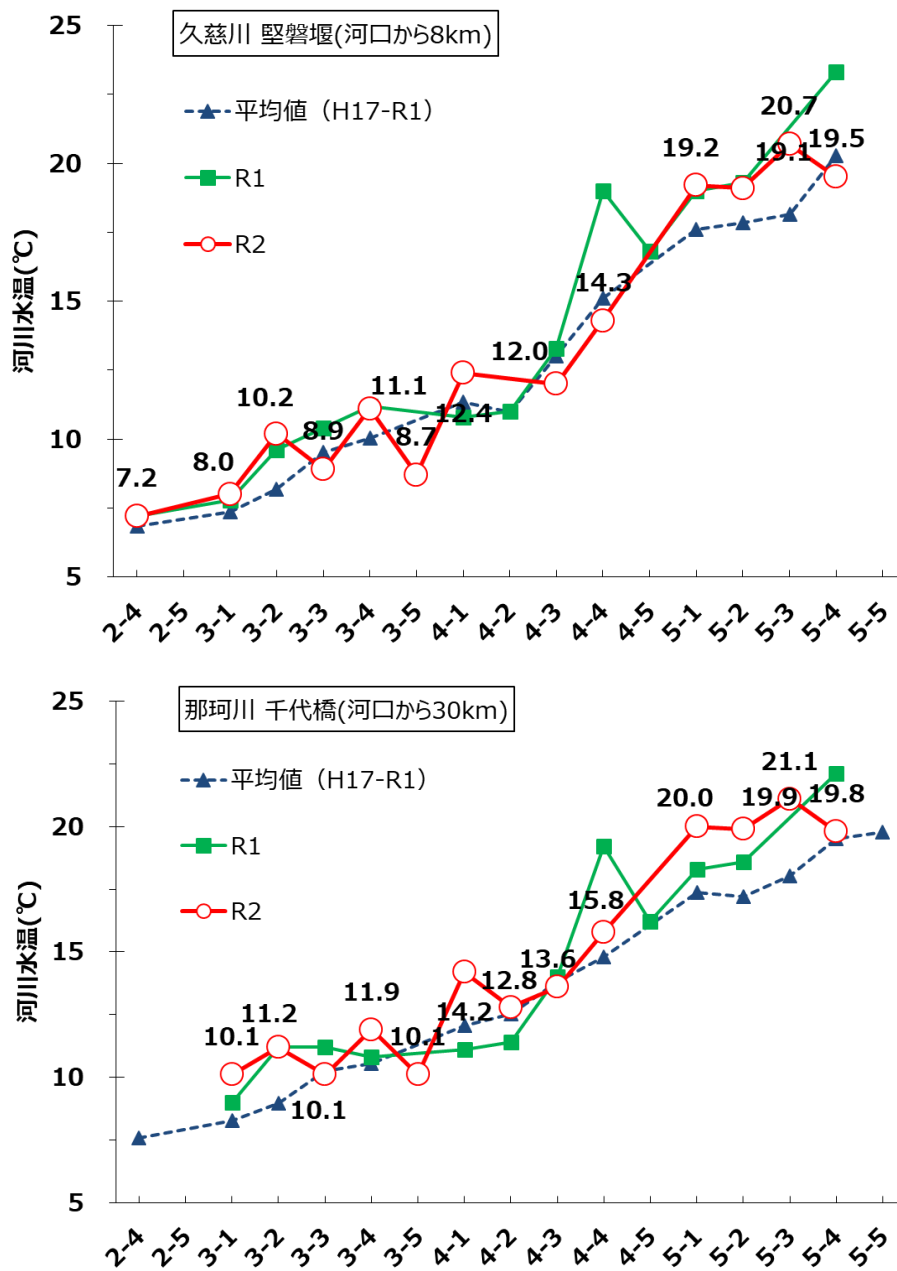


図4 調査定点における河川水温の推移
(上：久慈川堅磐堰，下：那珂川千代橋)